【伊賀地区農村青少年クラブ経営訪問　～仲間のすごいところ発見！～】

三重県農村青少年クラブ連絡協議会（以下「農村青少年クラブ」）では、７月４日（木）に伊賀地区において、農村青少年クラブ員の経営訪問を実施しました。農村青少年クラブは、伊勢志摩地区、伊賀地区、紀州地区の農村青少年を中心に組織された県内若手農業者団体です。平成２５年度のクラブ員は３０名で、平均年齢は３０．４歳、作目は多彩に富むフレッシュな顔ぶれです。活動としては、プロジェクト活動や研修会、交流活動などを主体としています。

経営訪問は２年前から始めており、同じクラブ員でも互いの経営内容や作業現場を知らないことから、相互理解と新たな「気づき」を得る場となっています。特に昨年度は、平成２３年秋の紀伊半島大水害により紀州地区が被災したことを受けて、クラブ員の発案により、経営訪問を兼ねた被災地支援活動を実施しました。被災したクラブ員や被災地区を訪問し、農地の復旧や農作業の支援を通じて交流を図りました。この活動を通じて、農村青少年クラブ全体の連帯感が一層高まったと実感しています。

７月４日の経営訪問においても、伊賀地区だけではなく、伊勢志摩地区、紀州地区からもクラブ員が参加し、１２名のクラブ員が４名の経営現場を訪問しました。訪問先は「花き」「梨と稲作の複合」「畜産と稲作の複合」「ぶどう」と多彩で、参加側のクラブ員も様々な作目や農業従事形態であったことから、新たな知見や気づきの獲得につながったようです。何より、仲間ががんばる姿に刺激を受けたことが、一番大きな収穫であったと感じます。また、経営訪問の途中で、伊賀地区のクラブ員が取り組む「田んぼアート」のほ場を見学していたところ、すぐ前の上野南中学校の先生がわざわざみえて、生徒が非常に喜んでいる旨を伝えてくれました。「田んぼアート」では「夢」の一文字を描いたところ、多くの生徒が感動してくれたとのことでした。その後、校長先生も来ていただき、「田んぼアート」が見えやすい校内の２階テラスまで案内していただきました。伊賀地区のクラブ員も、直接喜びの声が聴けたと大いにモチベーションを高めていました。

（経営訪問の様子）

田んぼアート「夢」⇒